SONY

4-092-987-**03** (2)

お客様・販売店様・特約店様用

壁寄せスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
プラズマテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

この壁寄せスタンドは、ソニー製の指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。
棚板には、メディアレシーバー、DVDプレーヤーやビデオデッキなどを収納するように設計されています。

指定機器：フラットパネルデジタルテレビ
（KDE-P42HX1/KDE-P50HX1）

壁側に寄せて設置する
壁寄せスタンドは、壁側に寄せて使用することを目的として設計されています。
転倒による事故を防ぐため、壁寄せスタンドは、必ず壁側に寄せて設置してください。
指示

SU-PC1/SU-PC1M

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
火災　感電　注意	禁止	指示

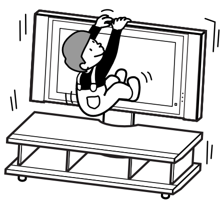
⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

壁寄せスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない

テレビが転倒して、大けがが、死亡などの原因となります。

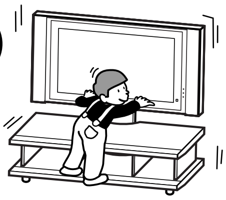
禁止



棚板の上に乗ったり、棚板の間に入って遊ばない

お子様が棚板の上に乗ったり、棚板の間に入って遊んだりすると、棚板が割れたり、テレビが倒れて、大けがや死亡の原因となります。

禁止



傾いた床面に設置しない

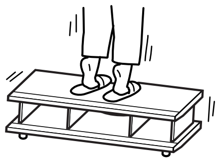
傾いた床面に設置すると、壁寄せスタンドが転倒したり、設置している機器が落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁止

踏み台にしない

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

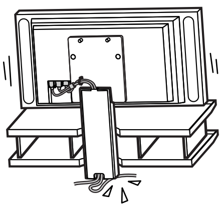
禁止



テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどを壁寄せスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
- 壁寄せスタンドを動かすとき、電源コードを踏まないようにする。
  コードに傷がついて火災や感電の原因となります。

禁止



⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定のテレビ機器以外のものを載せない

- この壁寄せスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべって落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの（陶器や花瓶など）は置かないでください。

禁止

収納機器を設置したまま動かさない

機器を設置したまま、壁寄せスタンドを動かさないでください。棚板が割れたり機器が落下したりして、思わぬ事故の原因となります。

禁止

スタンドを組み立て、ディスプレイを取り付ける

販売店様・特約店様用

販売店様・特約店様用

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

⚠警告

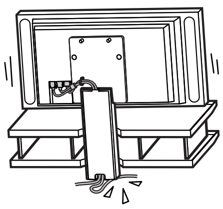
火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどを壁寄せスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
- 壁寄せスタンドを動かすとき、電源コードを踏まないようにする。
  コードに傷がついて火災や感電の原因となります。

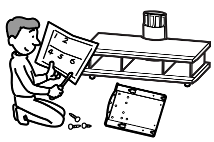
禁止



組み立ては、手順に従ってしっかり組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていると、壁寄せスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

注意



設置は2人以上で行う

ディスプレイを壁寄せスタンドに設置するときは、2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。

注意

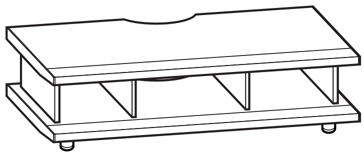
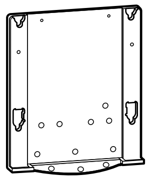
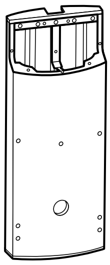
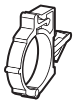
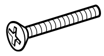
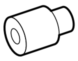
転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、地震などにより、ディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。メインブラケット上部の転倒防止金具にワイヤーなどを通して壁に取り付け、壁寄せスタンドを固定してください。

注意

手順1：組み立てに必要な部品を確認する

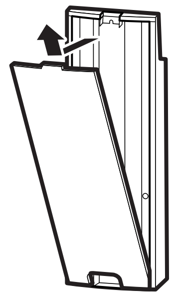
組み立てる前に⊕ドライバーをご用意ください。

名　称	数 量	名　称	数 量		
本体 	1	メインブラケット 	1		
支柱 	1	ケーブル留め 	1	M6ネジ（長）  M6 × 90 mm	4
		皿ネジ  M6 × 20 mm	10	M6ネジ（短）  M6 × 50 mm	3
スペーサ 	3	はずれ防止ネジ 	2	M6ネジ用ワッシャー 	7

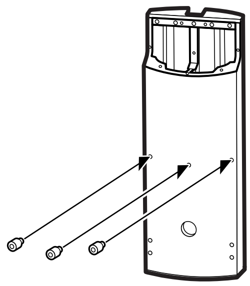
手順2：本体に支柱を取り付ける

1 支柱からケーブルカバーを取りはずす。

カバーの上側を引っ張り、上にずらす。



2 支柱の前面の穴にスペーサ（3個）を差し込む。

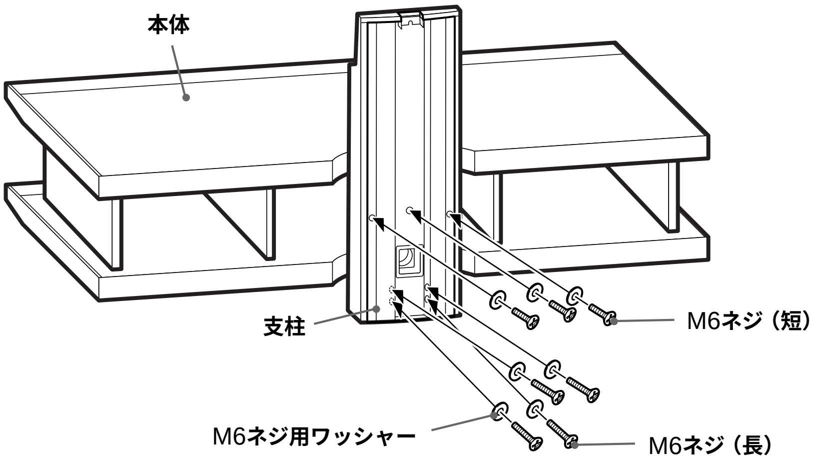


3 **支柱と本体のネジ穴を合わせ、図のように上部3点をM6ネジ（短）で、下部4点をM6ネジ（長）で、間にM6ネジ用ワッシャーを入れてから固定する。**

作業は2人以上で支えながら行ってください。
7本のM6ネジで一度仮留めをした後、しっかり締め直してください。

⚠注意

電動ドライバーで締め付ける場合、締め付けトルクはおおよそ2.45 N･mに設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。
インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してケガの原因となります。



手順3：本体にメインブラケットを取り付ける

1 **メインブラケットと支柱のネジ穴を合わせ、皿ネジ（10本）で固定する。**

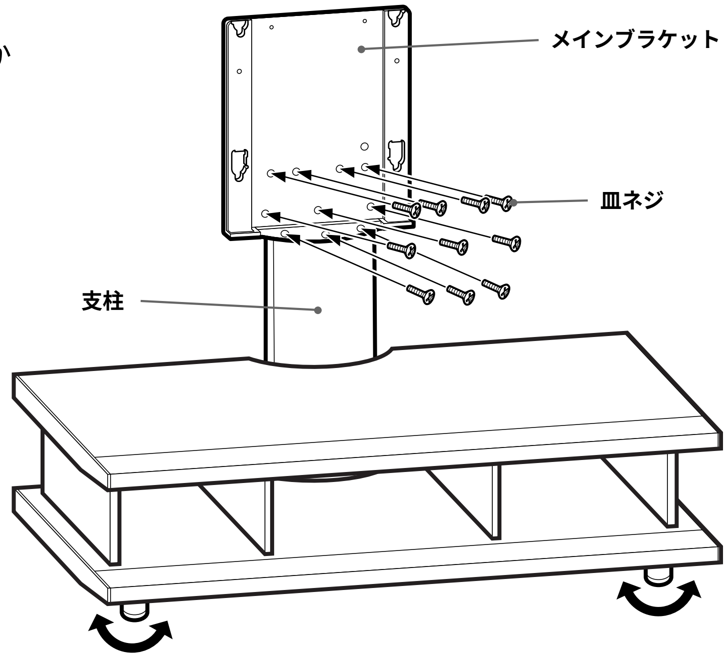
作業は2人以上で支えながら行ってください。
10本の皿ネジで一度仮留めをした後、しっかり締め直してください。

ご注意

支柱をしっかり支えて、安定させた状態で取り付けてください。

⚠注意

電動ドライバーで締め付ける場合、締め付けトルクはおおよそ2.45 N･mに設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。
インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してケガの原因となります。



足を回すと、高さを調節できます。

ご注意

回しすぎると足が取れます。

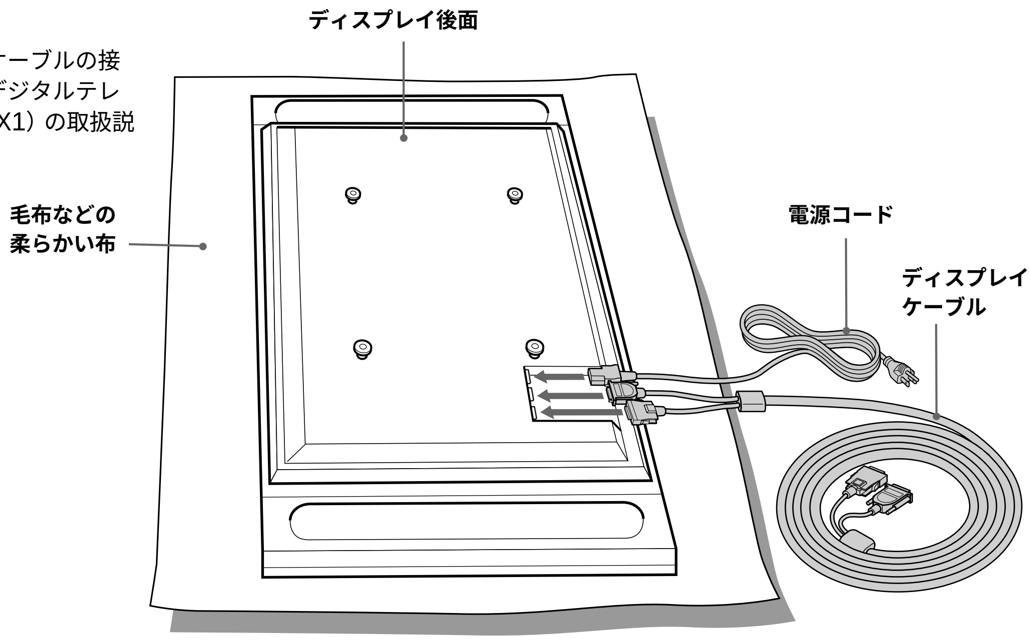
手順4：ディスプレイを取り付ける

⚠警告　全ての作業が終わるまで、電源コードをコンセントに接続しないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、コードが傷ついて火災や感電の原因となることがあります。
また、電源コードやディスプレイに引っかけると、転んだり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

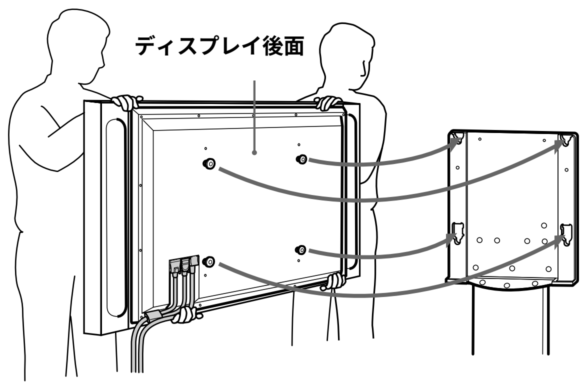
1 ディスプレイを壁寄せスタンドに掛ける。

❶ ディスプレイに付属の電源コードおよびディスプレイケーブルをつなぐ。

ちょっと一言
電源コードおよびディスプレイケーブルの接続については、フラットパネルデジタルテレビ（KDE-P42HX1/KDE-P50HX1）の取扱説明書をご覧ください。

❶


❷ ディスプレイの上下両端を2人以上で持って、ディスプレイ後面のフックをメインブラケットの穴に差し込み、4か所の穴に全てのフックが引っかかっていることを確認する。

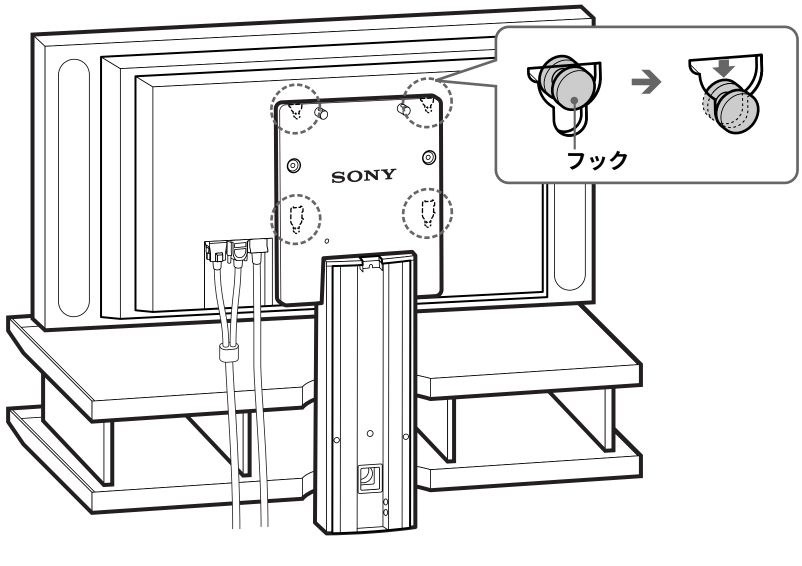
❷


❸ メインブラケットの穴に差し込んだフックを、まっすぐ下におろして固定する。

ご注意

- ディスプレイは、穴の底までしっかりと差し込んでください。取り付け後は、ディスプレイが平行にかかっているかご確認ください。
- ディスプレイを取り付けるときは、壁寄せスタンドが動かないように注意してください。

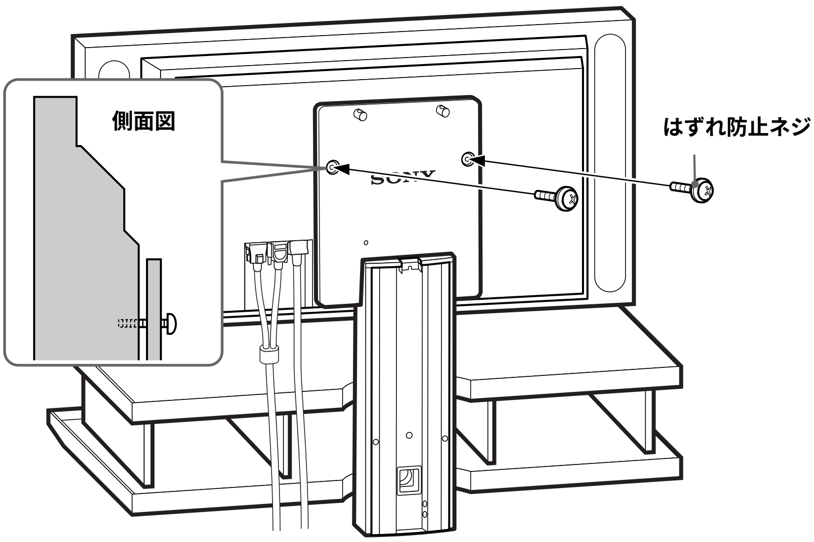
❸



2 はずれ防止ネジ（2本）を使ってディスプレイを固定する。

⚠警告

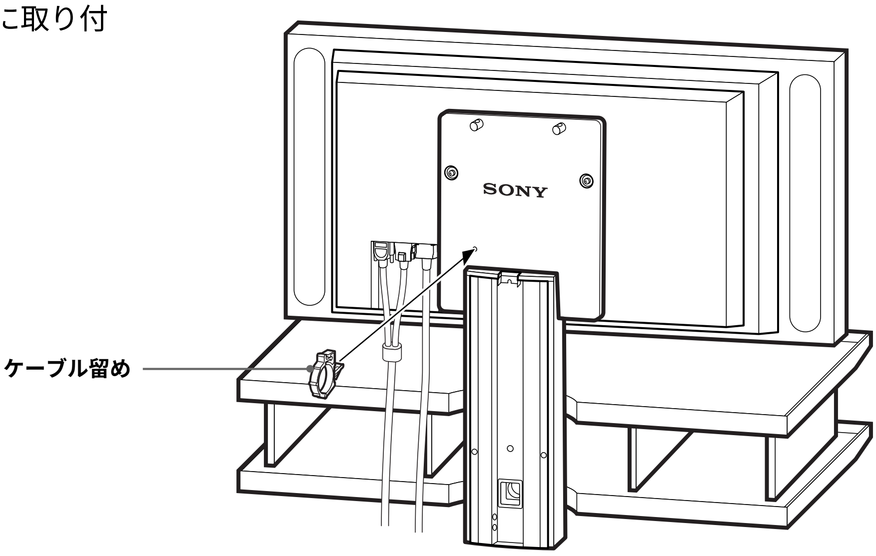
はずれ防止ネジ（2本）を使わないと、ディスプレイが落下し、けがの原因となることがあります。



3 電源コードおよびディスプレイケーブルを固定する。

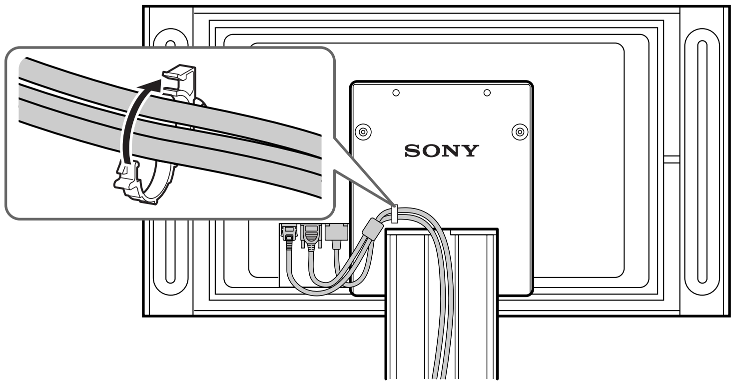
❶ ケーブル留めをメインブラケットに取り付ける。

❶



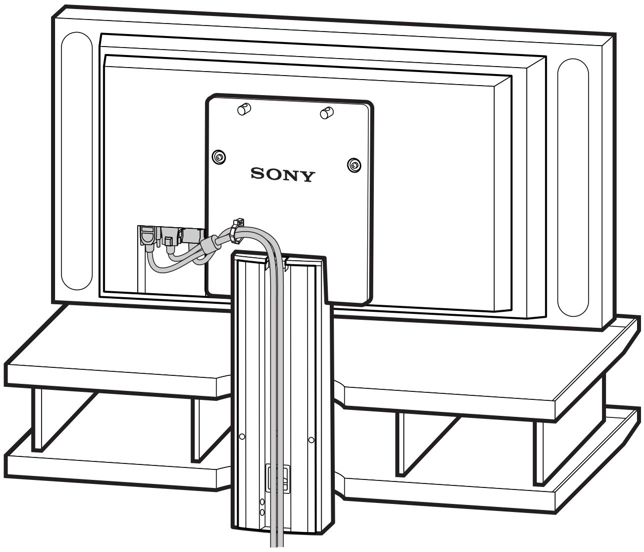
❷ ケーブル留めに電源コードおよびディスプレイケーブルを通して、コード類を留める。

❷



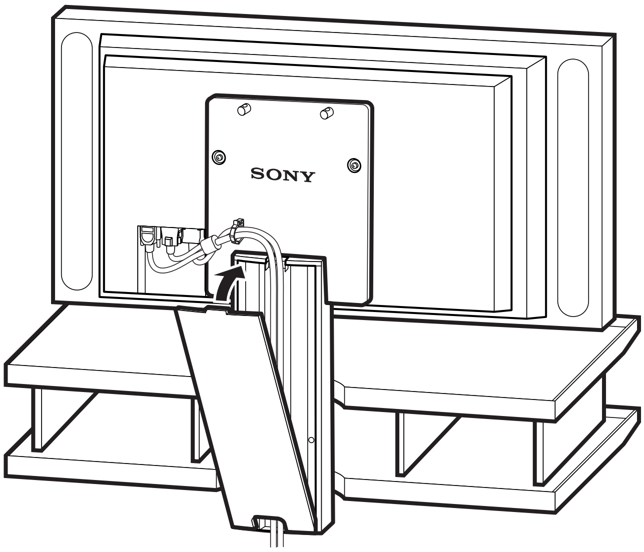
❸ 支柱内に電源コードおよびディスプレイケーブルをおさめる。

❸



❹ ケーブルカバーを取り付ける。

❹

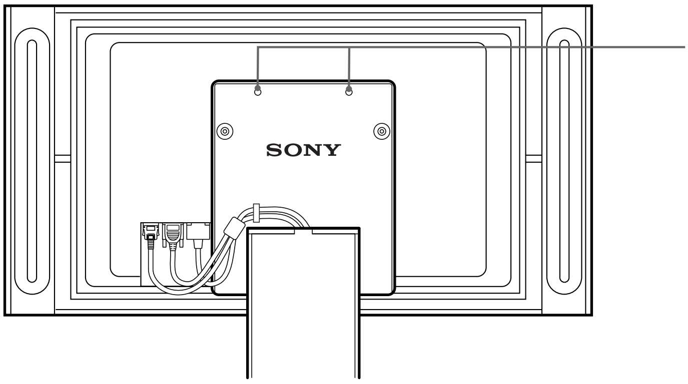


4 転倒防止の処置を行う。

メインブラケット上部の転倒防止金具にワイヤーなどを通して壁に取り付け、スタンドを固定する。

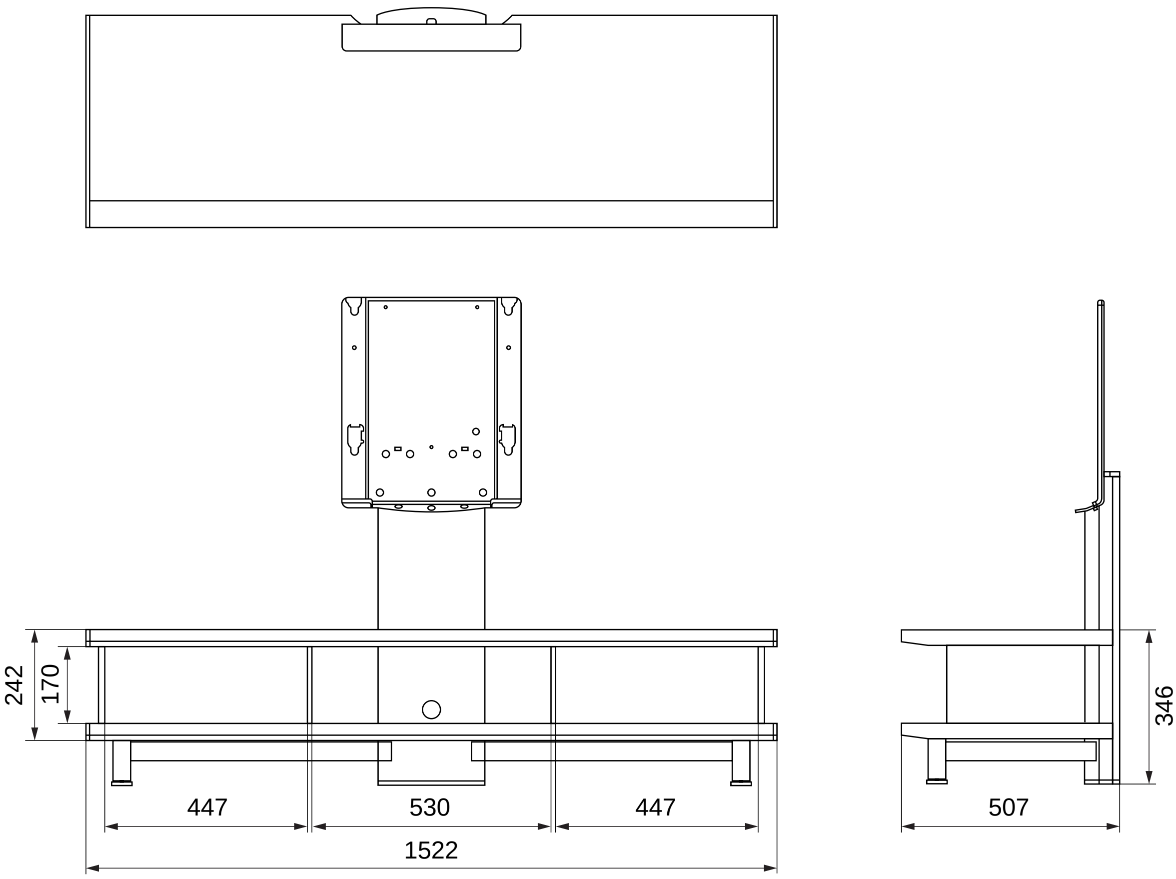
⚠警告

転倒防止の処置をしないと、地震などによりディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。メインブラケット上部の転倒防止金具にワイヤーなどを通して、壁寄せスタンドを壁に固定してください。



主な仕様

単位：mm
質量：45 kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ···················· 0466-31-2595
受付時間 ：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100％古紙再生紙とVOC
（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキ
を使用しています。

Printed in Japan